

令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	高等学校 現代の国語（数研出版）		
副教材等	高等学校現代の国語準拠ノート（数研出版）				

学習の目標	1 知識・技能：実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 2 思考力・判断力・表現力：論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばします。 3 学びに向かう力、人間性：言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しむ態度を養います。
学習の方法	・知識・技能：予習では、音研や意味調べをするようにしましょう。漢字や慣用表現の知識を増やしていきましょう。 ・思考力・判断力・表現力：情報を関連付けて読む習慣を付けましょう。また、教科書教材の百字要約をしましょう。 ・学びに向かう力、人間性：伝え合う内容を検討したり、話し合いの仕方を工夫しましょう。読書に親しむとともに、文章表現の活動をしていきましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	論理的ということ 水の東西	・筆者の主張を正しく理解し、その内容について論理的に言葉の関係づけて言い換えます。 ・「水」に対する思想的態度を理解したうえで、「水」以外の事例における日本と西洋の違いについて適切にまとめます。 ・課題プリント、ノート、定期考査	◎	○	○
	「攻撃」と「共存」 「わらしべ長者」の経済学	・筆者の主張に基づいて、社会全体の問題を自分自身の問題へと引きつけて考えます。 ・「わらしべ長者」の男の経済活動に対する筆者の評価を踏まえた上で、自分の考えを論拠とともに明示できるようにします。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○
1 学期 末	ポスト・プライバシー	・筆者の論を適切にまとめ、それを踏まえたうえで、インターネットなどの「情報システム」の発展・普及による社会全体のありかたの変容について説明できるようにします。 ・課題プリント、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査	◎	○	○
	コインは円形か	筆者が述べるレトリックの意義を理解します。筆者の主張をどらえたうえで、他者と話し合っって考えを積極的に深めていきます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	○
2 学期 中間	ものごとば	異なる言語に見られる「認識される対象」の違いについて考察していきます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	◎	○	○
	人と自然の共生とはどういうことか	筆者が論じる「人と自然の文化的共生」の意味を的確に理解したうえで、適切な事例をあげ、調べた情報についてまとめます。 ・課題プリント、ノート、レポート、定期考査	○	○	◎
2 学期 末	政治的思考 絵を前に思いをめぐらす	・「民主政治」「独裁体制」の特徴について、違いや関係性も踏まえて理解します。 ・新聞記事と《絵を前に思いをめぐらす》のそれぞれの筆者の表現について、理解します。・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	◎	○	○
	科学コミュニケーション	「遠因」という言葉を用いた意図を把握します。文系と理系を分ける要因に関する筆者の考えを吟味したうえで、具体的な事例と関連付けて自分の考えを述べます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	○
3 学期	命は誰のものなのか	医学の発達と死の問題の複雑化との関連を理解し、「命はその人個人のものであるか」という問題提起に対する自分の考えを理由や具体例を交えながら論理的にまとめます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、レポート、定期考査	◎	○	○
	他者を理解するということ	「他者との相互理解」について理解を深めます。 ・提示された事例の内容や、相手の意見の意図などを確認しながら話し合います。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	○	◎
	時間と自由の関係について 時を編む人間	・筆者の時間論を踏まえたうえで、「時間」について論じられた真なる文章を読んで内容を理解し、「時間」に対する自分の考えを適切にまとめます。 ・時間に関する書籍を参考に、人間の生活と時間との関係について、自分の考えを深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	課題プリント、小テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	ノート、課題プリント、小テスト、定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、発表、プレゼンテーション、レポート

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	3	教科書	言語文化（数研出版）		
副教材等	言語文化準拠ワーク（数研出版）				

学習の目標	<p>1 知識及び技能：社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めます。</p> <p>2 思考力・判断力・表現力：論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高めめます。</p> <p>3 学びに向かう力、人間性：言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しむことで自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。</p>
学習の方法	<p>・知識・技能：古典を読むために必要な文語や副読のきまり、古典特有の表現などについて学習します。辞書や文法書を活用します。</p> <p>・思考・判断・表現：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるようにします。</p> <p>・主体的に学習に取り組む態度：積極的に場面の様子や心情を捉えたり、作者が伝えようとしている内容を分析したりする過程において、学修課題に沿って調べ学習に取り組んだり、話し合いに参加したりして、自分の考えを説明できるようにしていきます。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	古文 説話 宇治拾遺物語 漢文 入門 入門一・二	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の仮名遣いについて理解し、辞書などを引きながら自ら進んで古語を学習していきます。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 	○	◎	○
	近現代 近代小説（一） 羅生門	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるようにします。積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしていきます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、レポート、定期考査 	○	○	◎
1 学期 末	古文 随筆（一）徒然草 漢文 故事・史伝	<ul style="list-style-type: none"> ・勅諭や保り結びについて理解し、辞書などを引きながら学習します。 ・故事成語の多くが漢文に由来することについて、例を挙げて説明できるようにします。 ・春秋・戦国時代の歴史の知識を踏まえて、管仲と鮑叔の齊国における立錫、郭隗が賢者を招こうとした経緯、野稷の外交政策の特徴などを説明できるようにします。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○
	現代小説 サラバ!	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容を正確に解釈したうえで、「人と人との交流において大切なこと」について、合理的な答えを導き出していきます。周囲と協調しながら根拠立てて話し合い活動に取り組みます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、レポート、定期考査 	○	○	◎
2 学期 中間	古文 歌物語 伊勢物語 漢文 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書や文法テキストを調べながら正確に現代語訳します。和歌の修辭を解釈し、和歌に込められた心情を地の文と関連させて理解します。 ・「静夜思」「月夜」「八月十五日」に共通するモチーフについて、理解します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○
	近現代 詩歌 近代小説（二） 城崎にて	<ul style="list-style-type: none"> ・「短歌」に対する文化的背景についての理解を深め、そこで用いられる語句が持つ語感を磨き、語彙を豊かにしていきます。 ・作品の内容を理解し、「生と死」に対する思いを自身の体験を踏まえて文章にしていきます。 ・課題プリント、ノート、レポート、定期考査 	○	○	◎
2 学期 末	古文 随筆（二）枕草子 漢文 思想	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を正確に通釈し、句読点の配置によって文意が変わることを理解します。異なる解釈の可能性について説明できるようにします。 ・複数の解釈を比較検討した上で、教材本文の解釈を自分なりに構築できるようにします。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○
	近現代 戦争小説 沖縄の手記から	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の社会状況や文化的背景についての理解を深め、その時代に特有の語句が持つ語感を磨き、語彙を豊かにしていきます。さまざまな戦争文学を調べ、その内容を深く理解することで、我が国の言語文化について自分の考えを深めます。 ・課題プリント、ノート、レポート、定期考査 	○	○	◎
3 学期	古文 和歌・土佐日記	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の解釈を通して、当時の美意識について考えを深めます。 ・女性仮託の効果について、漢文日記と関連づけながらその意義について考察します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○
	漢文 文章	<ul style="list-style-type: none"> ・「雑説」「雜説」が書かれた動機について、歴史的背景を踏まえた上で自分なりに考えをまとめます。唐代中国の官吏登用制や兵制を調べる活動に取り組めます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査 	◎	○	○
	近現代 近代小説（三） 山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が虎になるという設定がもたらす効果について、理解を深めます。衰憊の人物像を正確に把握し、作品に衰憊が登場することによる効果を理解して、話し合い活動に取り組めます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査 	○	○	◎

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	課題プリント、小テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	ノート、課題プリント、小テスト、定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、発表、プレゼンテーション、レポート

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	公民	科目	公共	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	高等学校 公共 (第一学習社)		
副教材等	最新公共資料集2022 (第一学習社)				

学習の目標	人間と社会の在り方についての見方や考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として必要な公民としての資質・能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用しながら学習内容の定着を図ります。 ・日常的に日本や世界の出来事に関心を持ち、議論を交わす場面では積極的に意見を述べましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	第1編 第1章 公共的な空間をつくる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間と人間の関わり、人間と社会の多様性と共通性などに注目し、社会に参画する自立した主体とは何か考えます。 ・ノート、レポート、定期考査 	○	◎	○
	第2章 公共的な空間における人間としての在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働することに向けて、幸福、正義、公正などについて理解し、現代の諸課題について関心を高めます。 ・ノート、レポート、定期考査 	◎	○	○
1 学期 末	第3章 公共的な空間における基本原理	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験などを通して、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察します。 ・ノート、定期考査、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価 	○	◎	○
	第2編 第1章 法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・法や規範の意義及び役割について考え、それにより個人の自由や権利が保障され、社会の秩序が形成されることを理解します。 ・ノート、レポート、定期考査 	◎	○	○
2 学期 中間	第1章 法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した消費者としての在り方を考えるとともに、司法への参加意義を理解し、公正・公平な判断力を身に付けます。 ・ノート、定期考査、ポートフォリオ評価 	○	◎	○
	第2章 政治的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・政治の在り方と国民生活の関わりについて考え、個人が政治へ参加することによってより良い社会が築かれることを理解します。 ・ノート、レポート、定期考査 	○	◎	○
2 学期 末	第2章 政治的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の課題や問題を基に、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について考えます。 ・ノート、定期考査、パフォーマンス評価 	○	○	◎
	第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に伴う雇用や労働環境の変化を理解し、望ましい職業観を形成します。 ・ノート、レポート、定期考査 	◎	○	○
3 学期	第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済システムを機能させたり、国民福祉の向上のための政府の役割について理解し、現実社会の課題について考えます。 ・ノート、定期考査、パフォーマンス評価 	○	○	◎
	第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ・ノート、レポート、定期考査 	◎	○	○
	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の精神を持つ自立した主体として、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた自身の役割について考えます。 ・ノート、定期考査、ポートフォリオ評価 	○	◎	○

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、パフォーマンス評価、課題
② 思考・判断・表現	行動の観察、レポート、ポートフォリオ評価
③ 主体的に学習に取り組む態度	出席状況、行動の観察、パフォーマンス評価、課題

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	数学・理数	科目	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ 理数数学Ⅰ・理数数学Ⅱ	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	6	教科書	高等学校 数学Ⅰ（数研出版）・高等学校 数学A（数研出版）・高等学校 数学Ⅱ（数研出版）		
副教材等	新課程 4プロセス 数学Ⅰ+A（数研出版）、新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅰ+A（数研出版）				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と並行して、教科書傍用問題集「4プロセス」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力して下さい。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出して下さい。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開と因数分解について学習します。 ・数を実数まで拡張する意義を確認し、数の体系についての理解を深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○
	第3節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象を1次不等式の問題に帰着させ、それを解く方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価 	◎	○	○
1 学期 末	数学Ⅰ 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の考え方をを用いて必要条件、十分条件、対偶などを学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価 	◎	○	○
	数学Ⅰ 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフの特徴について理解を深めます。 ・グラフを用いて、2次関数の最大値や最小値を求める方法を学習します。 ・グラフを用いて、2次方程式や2次不等式の解の求め方を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○
2 学期 中間	数学A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	<ul style="list-style-type: none"> ・順列や組合せの意味について理解し、それらの総数を求める方法を学習します。 ・確率の意味を確認し、事象の確率を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○
	数学Ⅰ 第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の意味と相互関係について学習します。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角の大きさの求め方を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価 	○	◎	○
2 学期 末	数学A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形、四角形、円に関する基本的な性質について学習します。 ・直線や平面の位置関係や、多面体に関する基本的な性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	◎	○	○
	数学Ⅰ 第5章 データの分析 数学A 第3章 数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・データを整理・分析し、事象の傾向を把握する方法について学習します。 ・公約数、公倍数の求め方や、整数の性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価 	○	◎	○
3 学期	数学A 第3章 数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・公約数、公倍数の求め方や、整数の性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価 	○	◎	○
	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について学習します。 ・等式や不等式が成り立つことの証明について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	◎	○	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	ノート、小テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	発表、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、発表、課題プリント、ノート

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	化学基礎 (数研出版)		
副教材等	化学基礎・化学問題集(愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門編)、サイエンスビュー化学総合資料四訂版(実教出版)				

学習の目標	1 身近な現象や身のまわりの物質から観察や実験を通して原理や法則を理解します。 2 実験や観察を通して、化学的な自然観を身に付けます。 3 化学的に考察する態度と能力を育成し、探究的学習を身に付けます。
学習の方法	・家庭学習では、身近な物質と授業内容を関連付け理解を深めてください。 ・授業では、初めて学習する用語や項目が多くあるため、集中することが大切です。 ・実験・観察を通して知識の定着や技能の習熟を心掛けてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	第1章 物質の構成	<ul style="list-style-type: none"> 様々な物質を整理・分類し、共通した要素や個々の相違点を調べることで、物質の成り立ちを追究します。 発表、行動の観察、定期考査、小テスト 	◎	○	○
	第2章 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> 物質を理解する基礎として、物質を構成する基礎的な粒子である原子について学びます。 行動の観察、実験ノート、定期考査、小テスト 	◎	○	○
1 学期 末	第3章 粒子の結合	<ul style="list-style-type: none"> 中学での内容をさらに深め、粒子がどのように結合しているのかなど、物質の性質と関連についても学習します。 発表、実験ノート、定期考査、課題プリント 	○	◎	○
2 学期 中間	第1章 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 原子・分子・イオンなどの質量や気体の体積と、個数との関係を学びます。また、物質の考え方を身に付けます。 パフォーマンステスト、行動の観察、実験ノート、定期考査、小テスト 	◎	○	○
	第2章 酸と塩基の反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸性・塩基性の強さの表し方を学びます。中和により生じる塩の水溶液は必ずしも中性ではないことを理解します。 実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト 	◎	○	○
2 学期 末	第3章 酸化還元反応①	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の定義を理解します。また、酸化剤や還元剤のはたらきや化学変化を化学反応式で表せるようにします。 発表、実験ノート、定期考査、課題プリント 	○	◎	○
3 学期	第3章 酸化還元反応②	<ul style="list-style-type: none"> イオンのなりやすさは、金属によって異なることを理解し、様々な物質から電池ができることを学びます。 行動の観察、実験の観察、実験ノート、定期考査、課題プリント 	○	◎	○
	探究活動	<ul style="list-style-type: none"> 実験上の注意・各試薬の調整方法・実験における基本操作などを学びます。化学的に探究する力を身に付けます。 実験の観察、実験ノート、定期考査 	○	○	◎

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	課題プリント、小テスト、定期考査、パフォーマンステスト
② 思考・判断・表現	発表、小テスト、定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	実験の観察、実験ノート、行動の観察、課題プリント

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	高等学校 生物基礎 (数研出版)		
副教材等	・セミナー生物基礎 (第一学習社) ・スクエア最新図説生物 (第一学習社) ・生物基礎実験ノート・問題集 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会)				

学習の目標	1 実験や観察を通して、生物におけるさまざまな基本的な生命現象を理解します。 2 実験や観察を通して実験方法や観察方法、考察の方法などの技術を習得し、自らが探究していく能力を養います。
学習の方法	・新出用語や初めて学ぶ項目が多数ありますので、授業に集中することが大切です。 ・家庭学習では復習に重点を置いてください。授業で学んだ内容は、問題集を繰り返し解き、教科書や資料集等を熟読することで理解を深めていくように心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	序章 生物基礎を学ぶにあたって	・生物基礎の内容の概要を把握し、顕微鏡の使い方を習得します。また、探究活動とは何かについて理解します。 ・実験ノート、行動の観察、観察・実験の観察、課題プリント	○	○	◎
	第1章 生物の特徴	・生物は多様であるが、細胞構造をもつなど共通性があること、その共通性は共通の起源をもつことに由来することを学習します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント (パフォーマンス評価)、定期考査 ・酵素のはたらき、光合成と呼吸のはたらきを通して、生物がエネルギーを得ていることを学習します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、ポートフォリオ評価、定期考査	◎	○	○
1 学期 末	第2章 遺伝子とそのはたらき	・遺伝子の本体であるDNAについて、構造及び遺伝情報はその塩基配列にあることを理解します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント (パフォーマンス評価)、定期考査	◎	○	○
	第2章 遺伝子とそのはたらき	・転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質合成について学習します。また、遺伝情報の複製についても学びます。 ・課題プリント、ポートフォリオ評価、定期考査	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 ヒトの体内環境の維持	・体内環境がどのようにして一定に保たれるのか、体内でどのような調節が行われるかを学びます。循環系、腎臓と肝臓について学習します。 ・定期考査	◎	○	○
	第4章 生物の多様性と生態系	・自律神経と内分泌系、免疫について詳しく学習します。免疫では、細菌やウイルスなどの病原体の攻撃を、どのように防御するか学びます。 ・課題プリント (パフォーマンス評価)、ポートフォリオ評価、定期考査	○	◎	○
3 学期	第4章 生物の多様性と生態系	・植生について、その構造や遷移とそのしくみについて学習します。森林・草原・荒原などの植生について理解を深めます。 ・実験プリント、課題プリント (パフォーマンス評価)、定期考査	◎	○	○
	第4章 生物の多様性と生態系	・地球上にはさまざまなバイオームが見られること、バイオームの分布は、主に気温と降水量によって決まることを例を取り上げ学習します。 ・課題プリント、ポートフォリオ評価、定期考査	○	◎	○
	第4章 生物の多様性と生態系	・生態系のなりたち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、定期考査 ・生態系は絶妙なバランスの上に成り立っていること、人類は生態系に影響を与えていることを学習し、自然環境の保全の重要性を学びます。 ・課題プリント (パフォーマンス評価)、ポートフォリオ評価、定期考査	◎	○	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	課題プリント、実験ノート、定期考査
② 思考・判断・表現	定期考査、実験ノート、ポートフォリオ評価、パフォーマンス評価
③ 主体的に学習に取り組む態度	観察・実験の観察、課題プリント

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	現代高等保健体育（大修館）		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けます。 2 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体としてとらえ生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育みます。 ・体育理論では、スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について学びます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。 ・行動の観察	○	○	◎
	選択(ダンス・陸上競技)	・陸上競技では、記録の向上や競走の楽しさや喜びを味わい、技能を高めます。主に障害走と跳躍を行います。 ・記録計測、パフォーマンス評価 ・ダンスでは感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しみや喜びを味わい、表現や踊りの技術を高めて交流や発表ができるようにします。 ・パフォーマンス評価	◎	○	○
2 学期 中間	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎
	選択2(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○
2 学期 末	選択3(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解します。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○
	体育理論	・長距離を走るにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標とします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応したりするなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・記録計測	◎	○	○
3 学期	陸上競技(長距離走)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解します。ドーピングはフェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせていることを理解します。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○
	体育理論		◎	○	○

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技、記録計測
② 思考・判断・表現	行動の観察、各先生の評価プリント、小テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、各先生の評価プリント

令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養います。
学習の方法	現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくありません。また、健康のとらえ方や健康のために望まれることも変化してきました。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学 期 中 間	1 健康の考え方と成り立ち	・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	◎	○	○
	2 私たちの健康のすがた	・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	○	◎	○
	3 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。	○	◎	○
	4 がんの原因と予防	・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。	◎	○	○
	5 がんの治療と回復	・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。	○	◎	○
1 学 期 末	6 運動と健康	・健康から見た運動の意義について学び、健康づくりのための運動習慣を身に付け、生涯にわたって運動が行えるように学習します。	○	○	◎
	7 食事と健康	・健康的な食生活の重要性と意義について学び、生涯にわたって健康的な食生活習慣を身に付けることができるように学習します。	◎	○	○
	8 休養・睡眠と健康	・健康から見た休養・睡眠の意義を学び、よりよい休養・睡眠のとり方を生涯にわたって実践できる能力を養います。	◎	○	○
	9 喫煙と健康	・喫煙の科学的な知識とたばこのない社会の実現には、個人および社会全体で取り組むことが重要であることを学習します。	○	◎	○
2 学 期 中 間	10 飲酒と健康	・飲酒による短期的影響、長期的影響について理解します。また飲酒の社会的問題について自分たちと関連づけて考えることができるように学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	○	◎	○
	11 薬物乱用と健康	・薬物乱用の心身への健康影響を学習します。また薬物乱用は、個人として絶対におこなってはならないと自覚できるように学習します。	◎	○	○
	12 精神疾患の特徴	・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。	○	◎	○
	13 精神疾患の予防	・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。	○	○	◎
2 学 期 末	14 精神疾患からの回復	・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。	◎	○	○
	15 現代の感染症	・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。	○	◎	○
	16 感染症の予防	・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ・感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。	○	○	◎
3 学 期	17 性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。	◎	○	○
	1 事故の現状と発生要因	・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	◎	○	○
	2 安全な社会の形成	・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。	◎	○	○
	3 交通における安全	・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。	◎	○	○
	4 応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義について説明できる。 ・傷病者を見つけたときに、確認・観察するポイントをあげることができる。	○	○	◎
	5 日常的な応急手当	・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ・実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。	◎	○	○
6 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 ・実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。	○	◎	○	

(備考) 1,2学期の定期考査は、期末のみ行う。3学期は、学年末考査のみとする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、ノート、課題プリント、パフォーマンステスト
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査、パフォーマンステスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、課題プリント

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組みます。 2 音楽のよさや美しさを感じ取り、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現します。 3 多様な音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に鑑賞します。
学習の方法	・外国語歌曲の歌唱等、中学校までの音楽の授業より難易度の高い内容です。授業での楽曲や演奏方法に関する説明をよく聞き、理解して演奏してください。 ・楽典と鑑賞の授業では、音楽の基礎的な知識を理解し、丁寧に楽譜を記入したり、音楽を深く味わって聴いたりしてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	歌唱 校歌、イタリア・ドイツ 歌曲、ポピュラー・ソング	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。 ・外国語歌曲の発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。 ・練習への取り組み方、実技テスト 	○	○	◎
	器楽 クラシック・ギター	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴を理解し、基本的な奏法を習得します。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取り組み方、実技テスト 	○	◎	○
	鑑賞 バロック時代	<ul style="list-style-type: none"> ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。 	○	○	◎
	楽典 楽譜の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜と音符の書き方について学習します。 ・ワークシート、小テスト 	◎	○	○
2 学期	歌唱 日本歌曲、ポピュラー・ソング、 ミュージカル音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。 ・楽曲が歌われる場面をイメージし、表現を工夫して歌います。 ・練習への取り組み方、実技テスト 	○	○	◎
	器楽 クラシック・ギター弾き語り	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の奏法を理解し、弾き語りをします。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取り組み方、実技テスト、パフォーマンステスト 	○	◎	○
	鑑賞 古典派、ロマン派	<ul style="list-style-type: none"> ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。 	○	○	◎
	楽典 楽譜の読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読み方や音楽用語について学習します。 ・ワークシート、小テスト 	◎	○	○
3 学期	歌唱 合唱、卒業の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。 ・合唱の響きを味わいながら、表現を工夫して歌います。 ・練習への取り組み方 	○	○	◎
	器楽 ヴァイオリン	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリンに触れ、西洋の文化的・歴史的背景や特徴を理解します。 ・ヴァイオリンの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取り組み方、実技テスト 	○	◎	○
	鑑賞 日本の音楽、印象派、現代音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。 	○	○	◎

(備考) ギターとヴァイオリンについては、選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に努めてください。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	実技テスト、小テスト
② 思考・判断・表現	練習への取り組み方、実技テスト、小テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業態度、出席状況、練習への取り組み方、ワークシート

令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	美術 1 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	1 様々な表現活動を通して、自らの考えや気持ちを表現する楽しさを味わうとともに、基礎的な知識や技術を身に付けます。 2 様々な作品を見たり批評し合ったりすることで、幅広い見方のできる鑑賞能力を伸ばします。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・絵画、デザイン、立体造形、鑑賞、それぞれの学習項目の中に、美術を学習する上で基礎となる大切な内容が入ってきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	1 身近なものを描く	・手のデッサンを通して、観察力、描写力、線の重ねかた、明暗の諧調など、基礎的な描法を学びます。 ・授業への取り組み、実技、作品	○	○	◎
	2 マークやサインで伝える	・単純な色と形を用いて、部活動のマークを作成します。 ・色彩の基礎を学び、効果的な配色やアクリル絵の具の特性を学びます。 ・授業への取り組み、実技、作品	○	◎	○
	3 想像してあらわす	・連想した言葉を組み合わせ、ありえないものや状況を想像し、表現します。 ・より面白い配置を考えることで、構成力を身に付けます。 ・授業への取り組み、作品、実技、課題プリント	○	○	◎
	4 メッセージを広く伝える	・伝えたい内容を伝えやすくする色や構図、コピーを考え、ポスターを制作します。 ・授業への取り組み、実技、作品、課題プリント、小テスト	◎	○	○
2 学期	5 版画の技法	・アートグラスの制作と鑑賞を通して、ニードルによる堀の表現と絵の具による色彩表現の面白さを味わいます。 ・色の三原色について学習し、色彩について科学的に理解を深めます。	○	◎	○
	6 自己をあらわす	・自画像の鑑賞を通して、何が描かれているのか、なぜ自画像を描いたのかを考え、自身の作品に反映させます。 ・自画像制作を通して観察力を養うとともに、下塗り、上塗り、混色など、絵画の基本的な描法を学びます。 ・他の生徒の作品を鑑賞することで、表現の違いや発想の面白さ、自己理解、他者理解を深めます。 ・授業への取り組み、発表、作品、実技、レポート	◎	○	○
	7 映像メディア	・映像メディア表現分野の芸術作品を鑑賞することで、新しい芸術表現の世界を味わいます。 ・絵画や彫刻とは違う表現の在り方について理解を深めます。 ・授業への取り組み、発表、レポート、小テスト	○	○	◎
3 学期	8 生命感をあらわす	・首降り人形の制作を通して、協調や省略をして表現する面白さを学びます。 ・立体作品を制作することで、平面作品とは違う制作方法、鑑賞方法についての理解を深めます。 ・授業への取り組み、作品、実技、レポート、小テスト	○	◎	○
	9 美術の流れ	・日本美術や西洋美術の歴史について学ぶとともに、アジアや他の国々の多様な芸術について理解を深め、美術作品の良さや面白さについて学びます。 ・授業への取り組み、発表、レポート	○	○	◎

(備考) 美術室の道具類は、美術選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に心掛けてください。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	実技、作品、小テスト
② 思考・判断・表現	実技、作品、課題プリント、レポート
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、作品等提出、発表

令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	書道Ⅰ（東京書籍）		
副教材等					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	1 楷書	・書道用具や書道史の基本的なことを学習して、書道学習への心構えを身に付けます。 ・用筆法や字形の組み方を学習し、作品によって異なる書き方を学びます。 ・臨書への取組、作品	◎	○	○
	2 行書	・行書体の字の崩し方の原理を学び、流動する用筆美を味わいます。 ・時代によって異なる書風を鑑賞し、臨書に生かします。 ・臨書への取組、作品、感想文、小テスト	○	○	◎
2 学期	2 行書	・日本で発展した書の芸術美を味わいます。 ・臨書への取組、作品	◎	○	○
	3 隷書	・古典の用筆法を学び、簡略美を味わいます。 ・臨書への取組、作品	○	○	◎
	4 篆刻	・篆刻の方法を学び、それぞれの姓名を印材に刻します。 ・取組、作品	○	○	◎
	5 創作（漢字）	・古典の臨書で学んだ字形や用筆法を生かして、漢字の書の創作をします。 ・応用力、作品、感想文、小テスト	○	◎	○
3 学期	6 仮名	・仮名の基本用筆を学び、平仮名の書き方などを学びます。 ・平安期の和歌を学習し、いろいろな散らし書きを学びます。 ・臨書への取組、作品、小テスト	○	○	◎
	7 創作（漢字仮名交じり）	・学習内容を生かして、漢字仮名交じりの書を創作します。 ・応用力、作品、感想文	○	◎	○

（備考）書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	臨書への取組、作品、小テスト
② 思考・判断・表現	応用力、感想文、作品
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習活動の観察

令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	4	教科書	ELEMENT English Communication I (啓林館)		
副教材等	Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 New Vision Quest English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1400				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想をまとまりのある英文で表現できる理解力と表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。CEFRのA2以上を目標とします。
学習の方法	・授業は予習をしていることが前提になります。予習ができていないと、授業中の言語活動に参加できなくなりますので、自分の力でやる習慣を身に付けましょう。 ・英語を読んだり、自分の意見を表現したりするとき、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	Lesson 1 Intercultural Relationships	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化間コミュニケーションについて考えます。 ・自分のことについて話すこと、書くことを身に付けます。 ・文型、受動態、to不定詞について理解します。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	◎	○	○
1 学期 末	Lesson 2 Love beyond Species Lesson 3 Contributing to Our Planet Further Reading 1 Toward Sustainable Development Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットを飼うことについて考えます。 ・ストーリー・レポートについて話すこと、書くことを身に付けます。 ・現在完了形、現在完了進行形、分詞の限定用法について理解します。 ・プラスチック問題について考えます。 ・身近な環境問題について話すこと、書くことを身に付けます。 ・動機を目的としたメールの文章を書くことを身に付けます。 ・関係代名詞、使役動詞について理解します。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	○	◎
2 学期 中間	Lesson 4 Messages for World Peace Lesson 5 Respecting Each Other	<ul style="list-style-type: none"> ・平和について考えます。 ・平和について自分の意見を話すこと、書くことを身に付けます。 ・過去完了形、知覚動詞について理解します。 ・野球の投手と観客を行った審判の物語を読み登場人物の心情について考えます。 ・イラストの状況について話すこと、書くことを身に付けます。 ・困難な状況にある友人を元気づけるメールの文章を書くことを身に付けます。 ・関係代名詞のwhat、関係副詞について理解します。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 6 Language and Culture Lesson 7 Technology and Discoveries	<ul style="list-style-type: none"> ・言語と文化について考えます。 ・自分の好きなもの、日本文化について自分の意見を話すこと、書くことを身に付けます。 ・関係代名詞の非限定用法、分詞構文について理解します。 ・セレンディピティについて考えます。 ・論理的に話すこと、書くことを身に付けます。 ・身近な事柄について短い説明文を書くことを身に付けます。 ・形式主語のit、be動詞の補語になるthat節について理解します。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	◎	○
3 学期	Lesson 8 Standing Up for Human Rights Further Reading 2 Picture without Shadows	<ul style="list-style-type: none"> ・全人類の人権を保障するために何をすべきか考えます。 ・社会的な事柄について、短い英文や簡単な表現をつなげて発表することを身に付けます。 ・仮定法過去、仮定法過去完了、過去完了進行形について理解します。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	◎	○

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト
② 思考・判断・表現	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	Vision Quest English Logic and Expression I Advanced (啓林館)		
副教材等	Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 New Vision Quest English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1400				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 基本的な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを的確に表現できる英語の発信能力を育成します。 3 CEFRのA 2以上目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の練習問題などを授業までに解答しておくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	Lesson 1 I want to introduce my new friend. Lesson 2 How about joining our group?	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の部活動について紹介する英文を書いたり話したりします。 ・学校行事の計画について英語でディスカッションをします。 ・基本的な文構造や命令文、疑問文について学びます。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	○	◎
	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson 4 Have you ever tried it before?	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の旅行での経験を英文で書いたり話したりします。 ・過去の経験について英語で質疑応答を行います。 ・未来形、過去形、完了形について学びます。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	○	◎
2 学期 中間	Lesson 5 What do you want to do after high school? Lesson 6 Did you hear about the new shop?	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢について英語で説明します。 ・ショッピングについて英語で会話をします。 ・助動詞や受動態について学びます。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	◎	○
	Lesson 7 I'm happy to have you with us. Lesson 8 What sport do you like playing?	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で感情を表現し、手紙を書きます。 ・スポーツをすることのメリットについて自分の考えを英語で表現します。 ・不定詞や動名詞について学びます。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	○	◎
3 学期	Lesson 9 Digital media has come a long way. Lesson 10 That's why I decided to go back.	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の個性について英語で説明します。 ・日本文化について英語で紹介します。 ・困難な問題について自分の考えを英語で表現します。 ・社会で起きている問題について自分の意見を英語で表現します。 ・分詞、関係詞、比較、仮定法について学びます。 ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題 	○	◎	○
	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?				
	Lesson 12 If I were you, I'd see it as a positive.				

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト
② 思考・判断・表現	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる（第一学習社）		
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編（愛媛県家庭科教育研究会）				

学習の目標	家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中でとらえ、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とします。
学習の方法	家庭科ノート、調理実習ノート、資料等を用いて授業を行います。実験・実習を活用し、実際の生活で実践できるように、生活との関わりを意識しながら進めていきます。講義や実習、グループ活動等に意欲的に取り組み、授業内容を参考にしながら、生活の中での問題点を発見し、自分で解決できる能力を身に付けていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	1章 これからの生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容、方法、評価を理解します。 ・青年期の課題を取り扱い、その中でアイデンティティを確立することの重要性を学習します。 ・家族と社会のかかわりについて理解を深め、男女が協力して家庭を築くことの意義と家庭生活のあり方について学習します。 ・ノート、定期考査、行動の観察、発表 	○	○	◎
	3章 充実した生涯へ 4章 ともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴と生活及び高齢者の福祉について理解し、高齢者を支える家族や地域社会の役割について考えます。 ・支え合って生きる福祉のあり方を理解します。 ・ノート、定期考査、行動の観察、発表 	○	◎	○
1 学期 末	ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家庭生活上の課題を見つけ、解決のための方法を考え、計画を立てて実行し解決できるよう学習します。 ・ホームプロジェクト、発表 	○	○	◎
2 学期 中間	6章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能と着装、管理の知識と技術を習得し、健康で快適な衣生活について理解します。また、衣生活における資源や環境問題について考え、実践に結び付けていきます。 ・ノート、定期考査、発表 	◎	○	○
	2章 次世代をはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達、保育、福祉を通して、健全な発達を支える親や社会の役割を理解するとともに保育への関心を深めます。 ・ノート、定期考査、課題プリント、行動の観察 	○	○	◎
2 学期 末	5章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養、食品、調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得し、健康で安全な食生活について理解します。 ・食にかかわる情報を適切に判断し、実生活に生かす態度を身に付けていきます。 ・ノート、定期考査、調理実習、行動の観察 	○	◎	○
3 学期	7章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の機能、住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識を習得し、環境に配慮した住まいや健康で快適な住生活について理解します。 ・ノート、定期考査、課題プリント、行動の観察、発表 	○	◎	○
	8章 経済生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を習得し、消費者としての自覚を持つことができるよう学習します。 ・現代の消費生活と環境のかかわりを理解し、環境負荷の少ない生活を目指して生活意識や行動様式を見直すことができるよう学習します。 ・ノート、定期考査、課題プリント、発表 	○	◎	○

(備考) 1、2、3学期ともに期末に定期考査を行う。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、実習
② 思考・判断・表現	定期考査、ノート、課題プリント、行動の観察
③ 主体的に学習に取り組む態度	ノート、課題プリント

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	情報	科目	情報 I	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	1	教科書	情報 I Step Forward! (東京書籍)		
副教材等	ニューステップアップ 情報 I 教科書傍用問題集 (東京書籍)				

学習の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に活用するために、必要な知識と技術を確実に習得できるように、教科書と並行して、問題集「ニューステップアップ 情報 I」で演習を行います。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	1章 情報社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とメディアについて学習します。また、問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・著作権と産業財産権、個人情報、情報セキュリティについて学習します。 ・定期考査、学習ノート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
1 学期 末	2章 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・電子商取引や人工知能などの情報技術と生活変化について学習します。 ・定期考査、学習ノート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータについて学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
2 学期 中間	2章 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・データの圧縮について学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの処理とデータの流れについて学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
2 学期 末	3章 プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムについて学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	○	◎	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化とシミュレーションについて学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
3 学期	4章 ネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークについて学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの信頼性やデータベースについて学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	◎	○	○
	5章 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決について学習します。 ・定期考査、学習ノート、ワークシート、振り返りシート、観察 	○	◎	○

(備考) 1,2学期の定期考査は、期末のみ行う。3学期は、学年末考査のみとする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、学習ノート、ワークシート
② 思考・判断・表現	定期考査、学習ノート、ワークシート
③ 主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート、観察

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	SS	科目	RSI	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書			
副教材等	理科課題研究ガイドブック～どうやって進めるか、どうやってまとめるか～（千葉大学先進科学センター）				

学習の目標	1 地域の自然環境や文化・歴史、産業や医療・福祉などを主題とした課題研究に取り組み、資料の収集、現地実習、実験・観察などの体験的な活動を通して得られた情報を分析・考察しながら、科学的に探究する能力や態度を身に付けます。 2 課題研究の成果を、論文やスライド、ポスターにまとめ、プレゼンテーションを行う経験を通して、情報を発信するための技能を高め、豊かな表現力を醸成します。
学習の方法	・地域や身近にある素材を主題にして課題研究を進めます。担当教員からの助言やインターネット等から得た情報を参考にしながら、主題の決定から調査方法、成果報告まで、生徒が主体となって探究活動を展開します。 ・地域や身近にある素材を課題研究の対象として捉え、知的好奇心を持って探究できるよう、また、情報をうまく伝えるためのスキルを身に付けることができるよう、出張講義や発表会の機会が多く設定されています。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	SSHオリエンテーション 昨年度の課題研究の紹介 研究テーマの設定（ブレイン・ライティング） 出張講義「研究の取り組み方」 基礎理工講座出張講義 大学の研究者 生命環境講座出張講義 農林水産研究所 総合科学講座出張講義 西子ジオパーク 情報講座	・「理科課題研究ガイドブック」を用いて課題研究の取り組み方について説明を受けたり、昨年度の課題研究のうち優秀な作品を紹介されたり、また、ブレイン・ライティングの手法を用いた研究テーマの設定のしかたを模擬体験したりするなど、課題研究を進めていくために必要となる具体的なイメージを持てるようにします。 ・地域や身近にある素材を課題研究の主題として取り上げる際に、出張講義を生徒自身の見聞を広げる機会として実施し、その内容を研究テーマの設定に役立てます。なお、出張講義に関するレポートについては、助言・評価を与えながら、その内容を改善・充実させていきます。 ・情報講座において、表計算アプリケーションの基本的な活用法を学びます。 ・ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察	◎	○	○
	講座分け説明会 講座希望調査 研究班編成 研究テーマの設定 文献検索・先行研究の調査 研究テーマ検討会 研究計画 課題研究	・書籍やインターネット等を活用し、過年度の課題研究や文献について十分に調査するとともに、研究テーマを決定させます。 ・研究テーマや研究計画を各班でスライド等にまとめ、研究テーマ検討会において口頭発表を行います。その発表内容に対して校外の専門家から指導助言を受け、研究計画等について改善を図り、課題研究を開始させます。 ・ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、発表、行動の観察	○	◎	○
2 学期	課題研究	・各班が設定した研究テーマについて、研究計画に従って、フィールドワークや観察・実験等によるデータの収集とその分析・考察、研究のまとめを行っていきます。 ・ポートフォリオ評価、行動の観察	◎	○	○
	課題研究中間発表会	・10月下旬までの課題研究の成果をスライドにまとめて発表します。その発表内容に対して校外の専門家から指導助言を受け、今後の研究の方針等に改善を加えていきます。 ・ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、発表、行動の観察	○	◎	○
	SSH講演会	・講演内容を踏まえてレポートを作成します。研究者・技術者に求められる心構えを理解したり、最先端研究に関する知見を広げたりするなど、自らの進路実現・自己実現について考えを深めるとともに、課題研究に取り組む意義について考えます。 ・レポート	○	◎	○
	情報講座	・プレゼンテーションを効果的に行うために、論文やスライドの作成において注意すべき事項や知っておきたいスキルについて説明します。 ・ポートフォリオ評価、行動の観察	◎	○	○
3 学期	論文作成 プレゼンテーションの準備	・課題研究の成果を論文とプレゼンテーションに用いるスライドにまとめます。規定の時間内でプレゼンテーションできるよう口頭発表の準備も行います。 ・ポートフォリオ評価、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	◎	○	○
	課題研究講座内発表会 SSH研究成果報告会	・講座内発表会において口頭発表を行います。さらに、SSH研究成果報告会においてステージ発表またはポスター発表を行います。 ・ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	○	◎	○
	まとめ、自己評価 今後の課題	・課題研究の取り組みや成果について、自己評価を行い、今後の課題について話し合います。 ・ポートフォリオ評価、レポート	○	○	◎

(備考) 定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識・技能	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	35
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	35
③ 主体的に学習に取り組む態度	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。